

そのまま得点につながる可能性が高い分野です。『**代表的な生薬、生合成経路、確認試験**』に加え、実務分野になりま

すが『**漢方処方**』の基礎についても学びましょう！最後は気力です！1点でも多く得点してください！

相互作用、体内動態変動（テララメイド医療）』があります。TDMでは有効血中薬物濃度、薬物相互作用では代

謝の誘導と阻害、体内動態変動では疾患時や加齢に伴う体内動態パラメータの変化について確認しましょう。

生物

近年、生物の領域では図表や実験問題など考える力を必要とする内容の出題が増えています。このような問題に対応するためにも、直前期には自分自身の知識の抜けがないかなど網羅的に復習することが重要です。実際に問題を解く際には、自身の知識を呼び起こしながら、キーワードや情報を読み取れるよう意識しましょう。

また、薬理や薬物治療などの他科目

に関連する内容（薬の作用機序、病態形成、感染症など）が実践問題として出題されています。『**薬の作用・病態に関連する代謝反応**』は、構造や全体像と合わせて、『**感染症**』は原因となる病原体の特徴などを関連づけて確認しましょう。『**免疫学**』は、反応に関わる細胞や抗体などのタンパク質の構造や機能が幅広く出題されていますので、全体像を意識しながら復習してください。

病態・薬物治療

病態・治療は大きく病態生理・薬物治療と情報・検定から出題されます。

『**病態生理・薬物治療**』に関しては過去にも出題のある一般的な疾患と近年話題性のある疾患からの出題があります。理論問題では症例から疾患や患者の状態を把握して薬物を選択する問題が出題されますので、主要な疾患の『**検査項目**』は事前に確認しておく必要があります。

『**情報・検定**』の範囲に関しては、近年

の国試では10題程度の出題があります。特に情報に関しては『**添付文書、インタビューフォーム、緊急安全性情報**』など既出問題を確認することにより得点できる部分が多いため、既出問題の確認をしっかりとしましょう。また、検定に関しては実際のデータを確認しながら回答する問題がありますので、既出問題から、データの読み方のポイントを確認しましょう。

衛生

衛生の近年の傾向は、平均点が65%前後であることです。出題に関しては、『**①既出問題②実験③歴史④トピックス**』と大きく4範囲です。

①既出問題は解けるだけでなく、一記述のポイントとなるキーワードを確認しましょう。

②実験は主に測定対象物質、試薬とその目的、結果、考察を確認しましよ

う。

③歴史は、戦後の日本の状況から人口変動や衛生状態の変化などを確認しましょう。

④トピックスは今年話題となった公衆衛生を確認しましょう。

衛生は年明けからでも得点がグンッと伸びる科目です。最後まで諦めず点数を伸ばしていきましょう！

法規・制度・倫理

近年は、出題基準から万遍なく出題され、毎年新傾向の内容も出題されています。既出問題の内容を理解してい

ることで得点できる設問は多く、他科目と比較して得点しやすい傾向です。

<出題頻度が高い10項目>

- ①薬剤師法②医療法③医薬品医療機器等法④麻薬及び向精神薬取締法
- ⑤毒物及び劇物取締法⑥薬害と健康被害救済制度⑦医療保険制度⑧介護保険制度⑨治験⑩承認後の制度（再審査・再評価、副作用等報告）

薬理

例年、必須・理論・実践問題で、出題基準に沿って万遍なく出題されます。その中には、『**既出問題の内容**』や、『**未出題薬物**』に関する問題がバランスよく盛り込まれます。

『**既出問題の内容**』は、問題中のキーワードを理解できていれば解けるものが多いため、既出問題を繰り返し定着させながら学修し、覚えるだけでなく、

理解まで完遂させておきましょう。

『**未出題薬物**』に関しては、過去3～4年分（第98～101回国試）の問題文中に、作用機序などの一部のキーワードが「前振り」として出ていることがあります。近年の問題で新しく出ている単語や、文章表現などの確認も忘れずに行っておきましょう。

国試までには、上記の範囲の既出問題は一通り目を通して理解をしておきましょう。必須、理論、実践のいずれでも出題されております。

なお、近年の法改正の注目点として、『**要指導医薬品（第101回国試初出題）**、

『**再生医療等製品、医療機器・体外診断用医薬品の規制**』は参考書等でしっかりと確認しておきましょう。また、6年制国試でまだ出題がない『**覚醒剤**』『**大麻・あへん**』『**GMP**』なども注目です。

実務

まず、問題を解く時に『**薬剤師として適切な行動を心がける**』ということ。分からない問題に出会った時も、選択肢の内容の先を考えると、患者にとって不利益になる内容が隠れており、正誤を判断できることがあります。また、直前期に何を勉強すべきかは、特に多く出題される下記の範囲を目安に再確認してください。

『**注射剤・輸液関連**』頻出されるのが、配合変化で、pH変動や溶剤、輸液バックの素材など様々なので、配合

変化の理由まで確認してください。また近年では電解質輸液だけではなく、栄養輸液に関する出題も出題されているので、各輸液の特徴を確認しましょう。

【**医薬品関連**】既に出題された用法・用量や相互作用は必ず覚えましょう。また、副作用の初期症状が判別できるか問われています。

【**管理**】医薬品はどのような方法で管理するのか、例えば、どのような場所で管理するのか、廃棄をするのか等、確認しましょう。

薬剤

薬剤領域の近年の傾向として、出題基準から万遍ない出題があり、これまでの既出問題を理解する上での重要な知識が問われる傾向にあります。

直前期には、これまでに学修を進めた内容の定着・知識の漏れをなくすことを意識して対策を進めましょう。

『**投与計画**』や『**DDS**』の範囲については出題の可能性が高い上、投与計画では第97回・第99回国試、DDSでは第98回・第99回国試に複数題出題されている要確認の範囲です。

また、実践問題(実務や治療)との関連性の高い範囲として、『**TDM、薬物**

三郷店

会社説明会にご参加ください

日程 **2017年3月から実施**

ご希望の店舗・日程で実施します。まずはお気軽にご相談ください!!

チェックポイント 1

転職に伴う 転居がない理由

当社の薬局は、東京・神奈川の小田急線沿線に集中しています。本社がある相模大野駅からは、ほとんどの薬局が1時間以内で通勤可能。転職があっても転居の必要なく、住み慣れた地域でオンとオフの両方が充実した毎日を送れます。

チェックポイント 2

充実した 180日間新人研修

地域密着型薬局と大学病院前の高機能薬局、在宅医療と、全てローテーションし、臨床を1から学ぶプログラム「180日間研修」を実践しています。また、かもめ薬局では医師にならったオープン・ネーベン制を取り入れ、新入社員(ネーベン)に対し教育担当の先輩社員(オープン)が、マンツーマンで指導・育成し成長をサポートします。

チェックポイント 3

在宅医療

当社は在宅医療にも力を入れており、在宅専門チームが約4000人の在宅患者様をサポートしています。2025年までに10000人の在宅患者様を支援できる体制を構築しています。

チェックポイント 4

SMO (新薬開発支援部)

薬局での経験を積み、一定の研修を受けた後にCRCとして活躍している先輩がいます。薬剤師としての知識・経験を活かし、国内有数の質と症例数を誇っている新薬開発に携わることができます!

エントリーは、**E-Mailかホームページから**

トライアドジャパン株式会社

人事総務課 野地
〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野3-14-20
TEL: 042-741-1117 / FAX: 042-742-3711
E-Mail: kamome2018@triad-j.co.jp
URL: http://www.triad-j.co.jp

